

東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2025年12月期決算-



2026年2月9日

東京応化工業株式会社

1. 2025年12月期 サマリー	p.2
2. 2025年12月期 業績	p.3
3. 2026年12月期 業績予想	p.8
4. tok中期計画2027定量目標の見直し	p.16
5. Appendix	p.26

2025年12月期 実績

- 通期業績予想の上方修正（1月30日）
- 売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において、2期連続で過去最高を更新。
- 生成AI関連の需要増加等、エレクトロニクス市場の拡大をとらえ大幅な増収増益を達成。

2026年12月期 業績予想

- 前提条件
生成AI関連の需要が引き続き旺盛であり、
先端半導体向け材料の伸長および顧客新規工場の稼働開始等を見込む。
想定為替レート 148.6円/ドル（2025/12実績）⇒ 150.0円/ドル（2026/12期）
- 市場動向や当社グループ製品の採用状況により、前年度を大幅に上回る増収増益を予想。
3期連続で過去最高を更新する見込み。

株主還元

- 純資産配当率（DOE）4.0%を目途とする配当方針のもと、
2025年12月期 期末配当 37円、年間配当 72円を予定。（8期連続増配）
- 2026年12月期は年間配当 80円を予想。
- 純資産配当率（DOE）4.0%のもと連続増配を継続。

	2024/12	2025/12	(百万円)	
			増減	増減率(%)
売上高	200,966	237,029	+36,062	+17.9
エレクトロニクス機能材料	107,515	124,700	+17,184	+16.0
高純度化学薬品	91,476	109,400	+17,923	+19.6
その他	1,974	2,928	+954	+48.3
営業利益	33,090	47,386	+14,295	+43.2
経常利益	34,554	49,274	+14,720	+42.6
親会社株主に帰属する当期純利益	22,683	33,345	+10,661	+47.0
EBITDA	41,424	56,194	+14,769	+35.7
ROE (%)	11.8	15.6	+3.8	-

期中平均為替 (USドル) : 150.8円/ドル (2024/12) ⇒ 148.6円/ドル (2025/12)

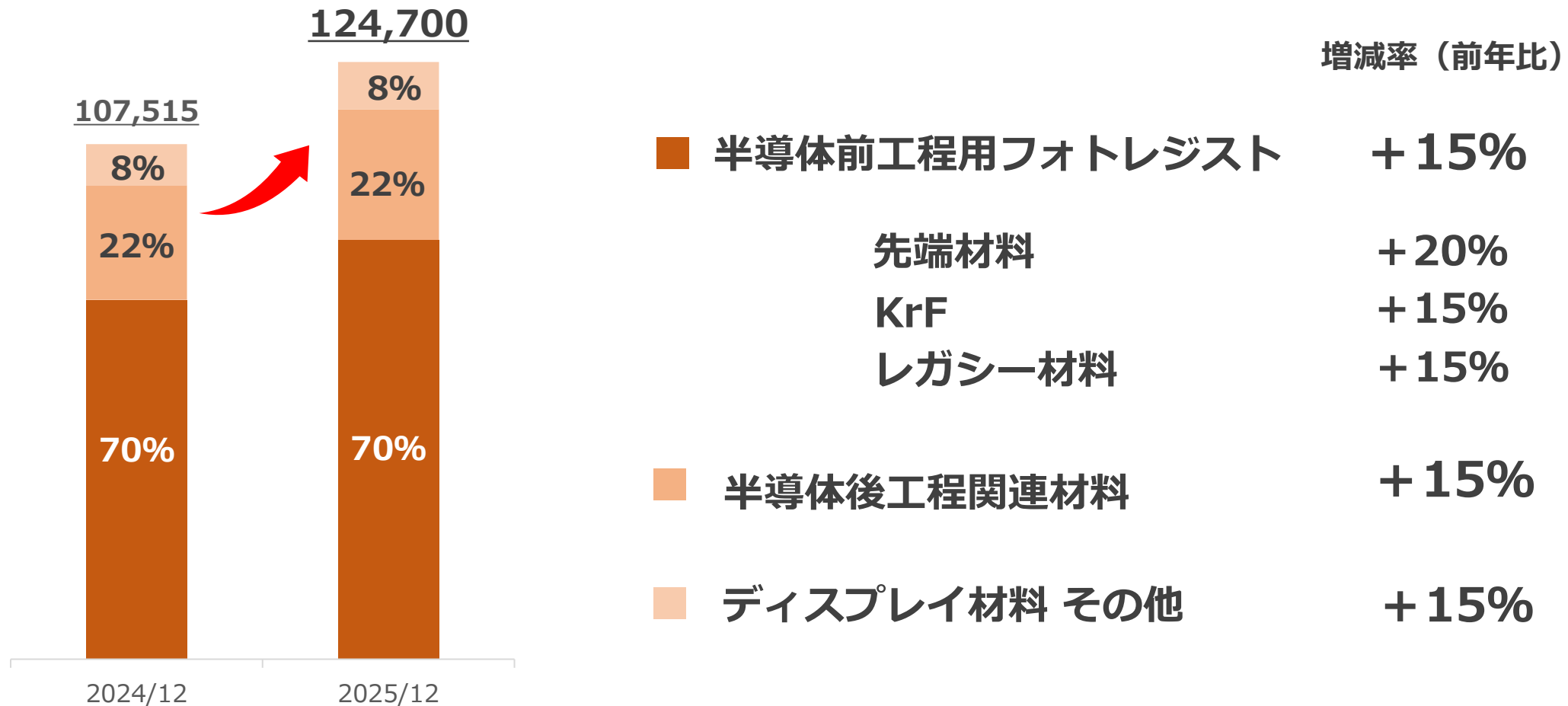
- 売上高：生成AI関連の需要拡大やパソコンの買い替え需要も堅調に推移したことにより、エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品ともに大幅な増収。前年比+17.9%の増収。
- 営業利益：先端向け材料を中心とした高付加価値品の販売増加により、前年比+43.2%の大幅な増益。
(第4四半期における開発関連材料等の在庫認識による一過性の増益を含む)
- 当期純利益：営業利益の増加により、前年比+47.0%の増益。
(第1四半期における装置事業譲渡に伴う特別利益の計上を含む)



エレクトロニクス機能材料の種類別売上

売上高（百万円）

YoY +16.0%



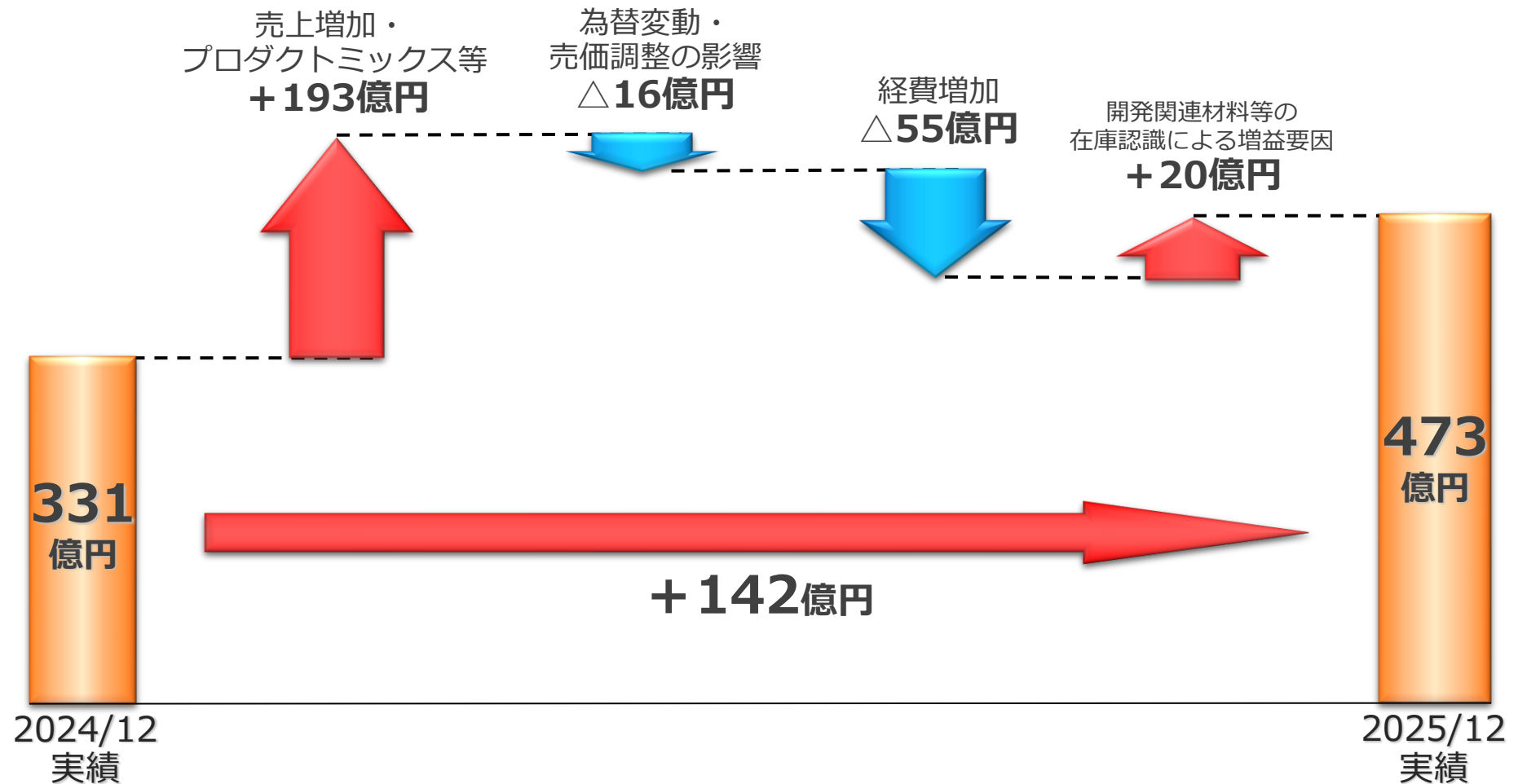
(注1) 先端材料：ArF・EUVレジスト等

(注2) レガシー材料：g線、i線レジスト等

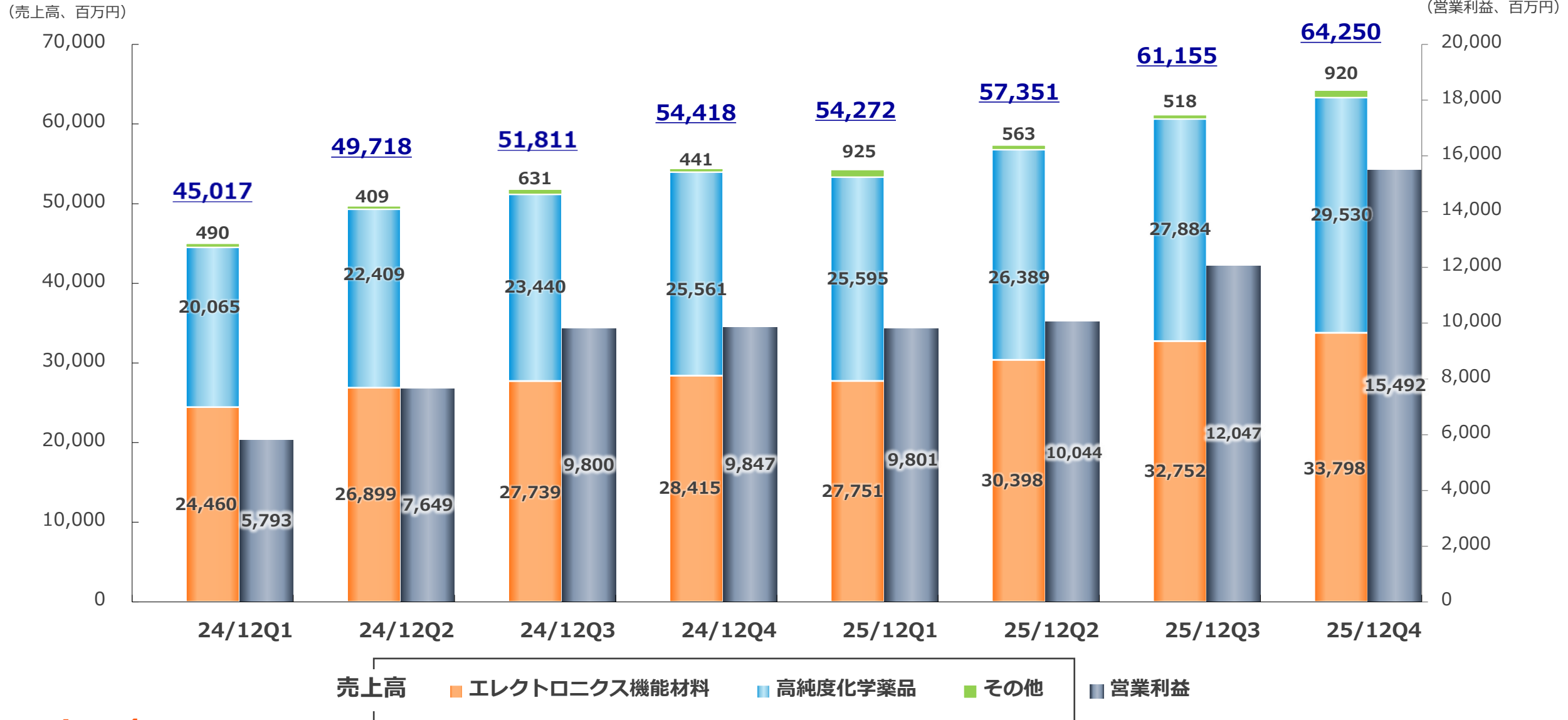
(注3) 半導体後工程関連材料：パッケージ材料、MEMS材料、WHS関連材料

営業利益の増減内訳

2024年12月期実績 対 2025年12月期実績



売上高・営業利益 四半期推移



(百万円)

	2024/12	2025/12	増減	増減率 (%)	年間計画比 (※)
設備投資等	24,764	28,723	+3,959	+16.0	△5,676
減価償却費	8,333	8,807	+473	+5.7	△92
研究開発費	14,519	15,673	+1,154	+8.0	△426

(※) 2025年8月6日発表の数字

■ 設備投資等：一部の設備投資について、年間計画より来期に期ずれ。

2026年12月期 業績予想

業績予想概要（通期）

（百万円）

	2025/12	2026/12	増減	増減率(%)
売上高	237,029	261,000	+23,970	+10.1
エレクトロニクス機能材料	124,700	140,000	+15,299	+12.3
高純度化学薬品	109,400	116,000	+6,599	+6.0
その他	2,928	5,000	+2,071	+70.7
営業利益	47,386	52,200	+4,813	+10.2
経常利益	49,274	53,800	+4,525	+9.2
親会社株主に帰属する当期純利益	33,345	35,000	+1,654	+5.0
EBITDA	56,194	63,500	+7,305	+13.0
ROE（%）	15.6	14.5	△1.1	-

期中平均為替（USドル）：148.6円／ドル（2025/12）⇒150.0円／ドル（2026/12）

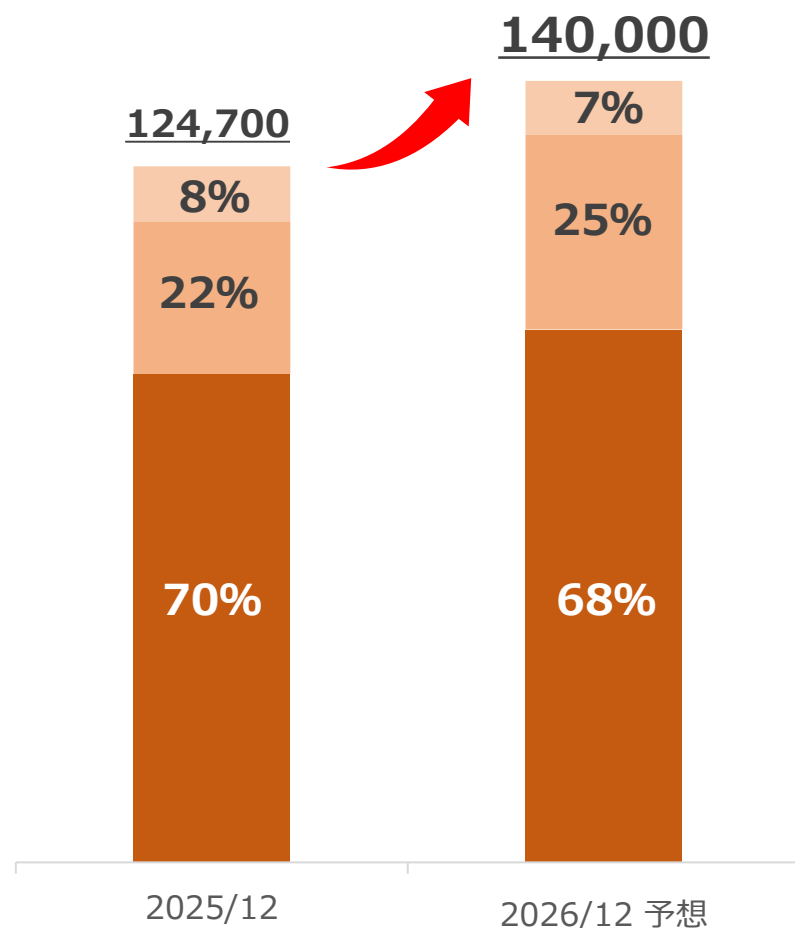
- 売上高：生成AI関連の需要拡大や顧客の新工場稼働開始等により、先端半導体向け材料や後工程関連材料の需要が一段と高まり、高純度化学薬品も堅調に伸び、前年比+10.1%を予想。
- 営業利益：売上高の増加により、前年比+10.2%の増益を予想。
- 当期純利益：営業利益の増加により、前年比+5.0%の増益を予想。

エレクトロニクス機能材料の種類別売上予想

10

売上高（百万円）

YoY +12.3%



増減率（前年比）

■ 半導体前工程用フォトレジスト +10%

先端材料 +10%

KrF +10%

レガシー材料 +10%

■ 半導体後工程関連材料 +30%

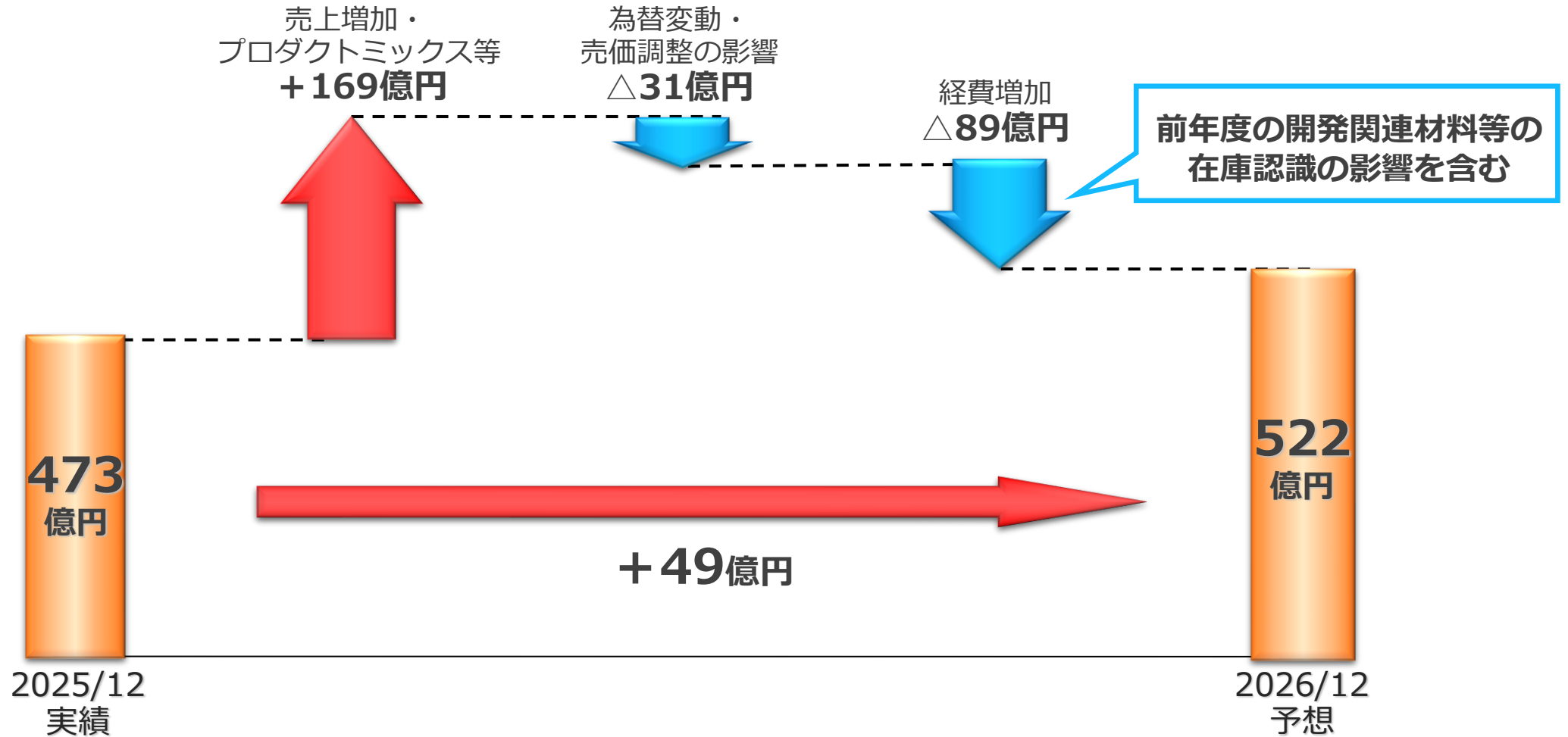
■ ディスプレイ材料 その他 △5%

(注1) 先端材料：ArF・EUVレジスト等

(注2) レガシー材料：g線、i線レジスト等

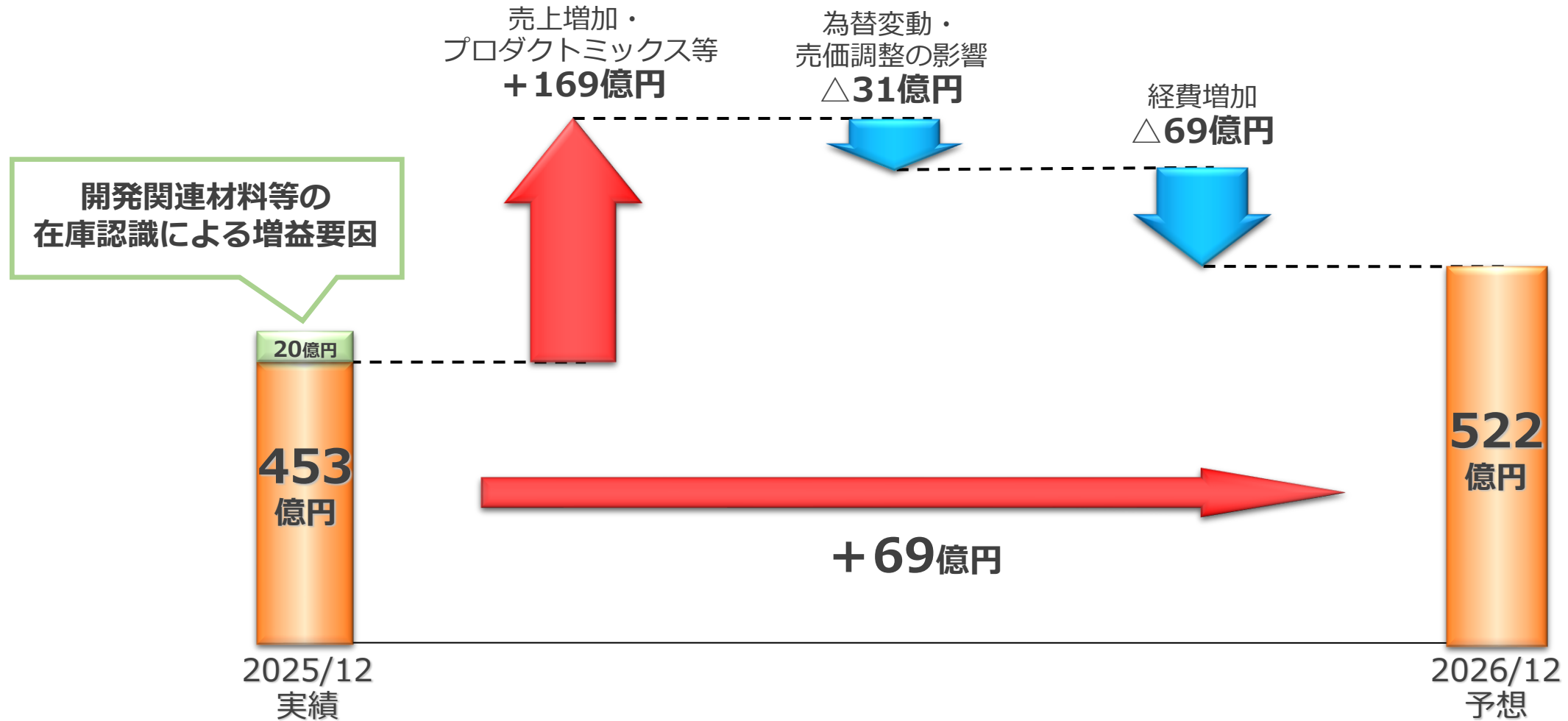
(注3) 半導体後工程関連材料：パッケージ材料、MEMS材料、WHS関連材料

2025年12月期実績 対 2026年12月期予想



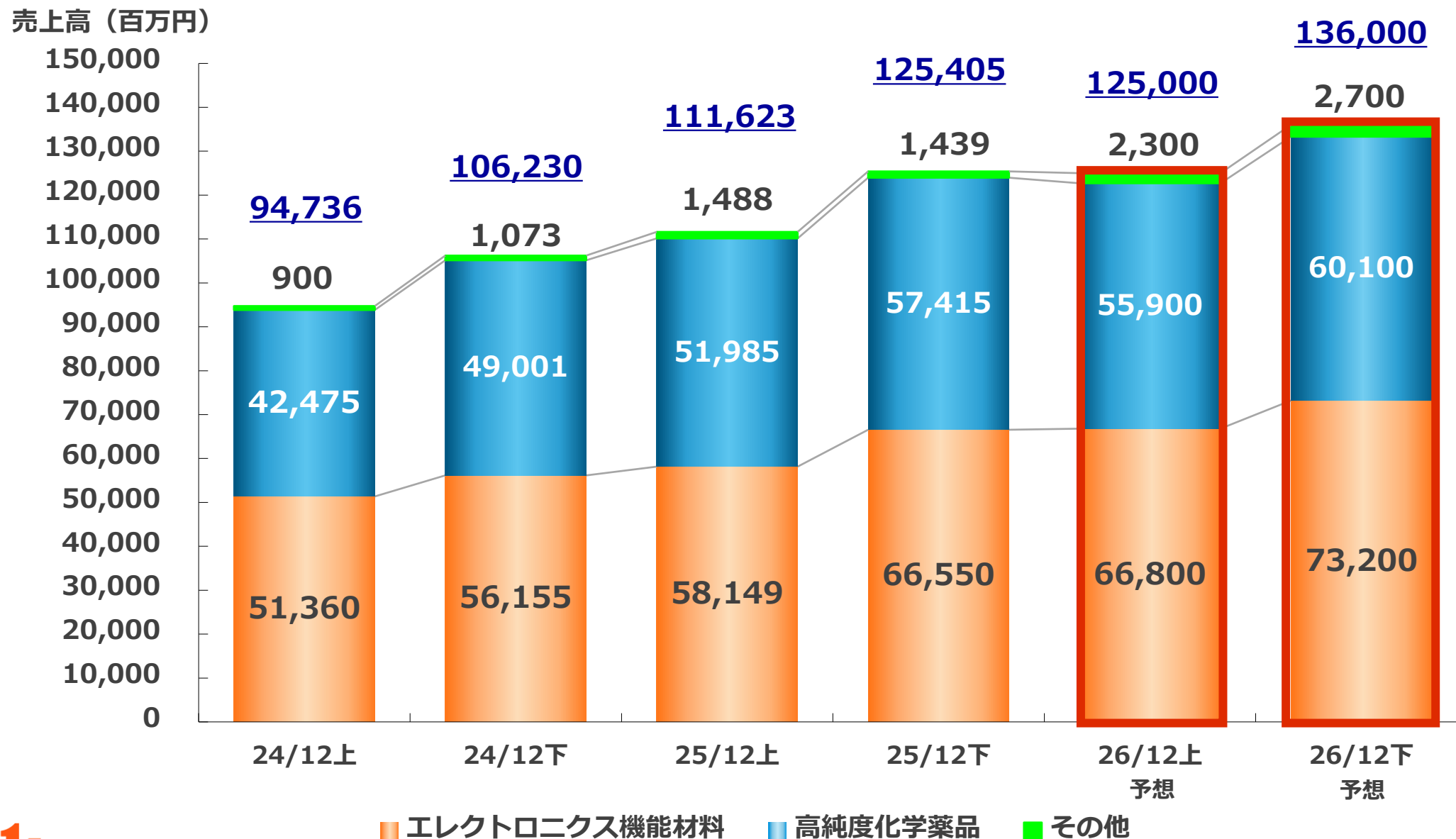
営業利益の増減内訳（一過性要因を除いた場合）

2025年12月期実績 対 2026年12月期予想



売上予想：部門別

13

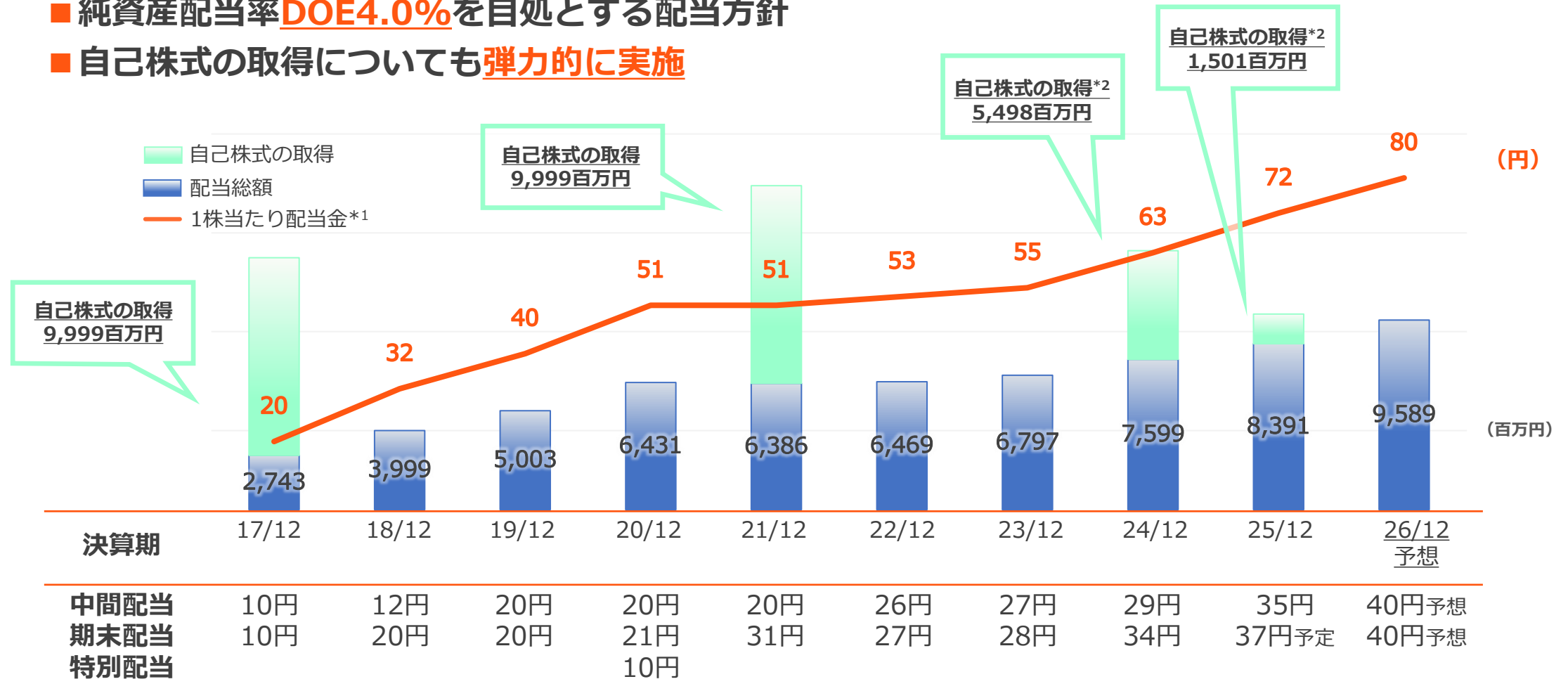


(百万円)

	2025/12	2026/12 予想	増減	増減率 (%)
設備投資等	28,723	35,800	+ 7,076	+ 24.6
減価償却費	8,807	11,300	+ 2,492	+ 28.3
研究開発費	15,673	18,200	+ 2,526	+ 16.1

株主還元 <tok Vision 2030を実現する強固な経営基盤の構築>

- 純資産配当率 **DOE4.0%** を目処とする配当方針
- 自己株式の取得についても **弾力的に実施**



配当政策
数値基準

tok中期計画2018
～配当性向40%以上～

tok中期計画2021
～DOE3.5%を基準～

tok中期計画2024
～DOE4.0%を基準～

tok中期計画2027
～DOE4.0%を基準～

tok中期計画2027 定量目標の見直し

見直しの背景

①半導体需要動向の変化

生成AI用半導体の需要増加を受け、当社グループ製品の需要は当初の予想を上回るペースで拡大中

②為替レートの変化

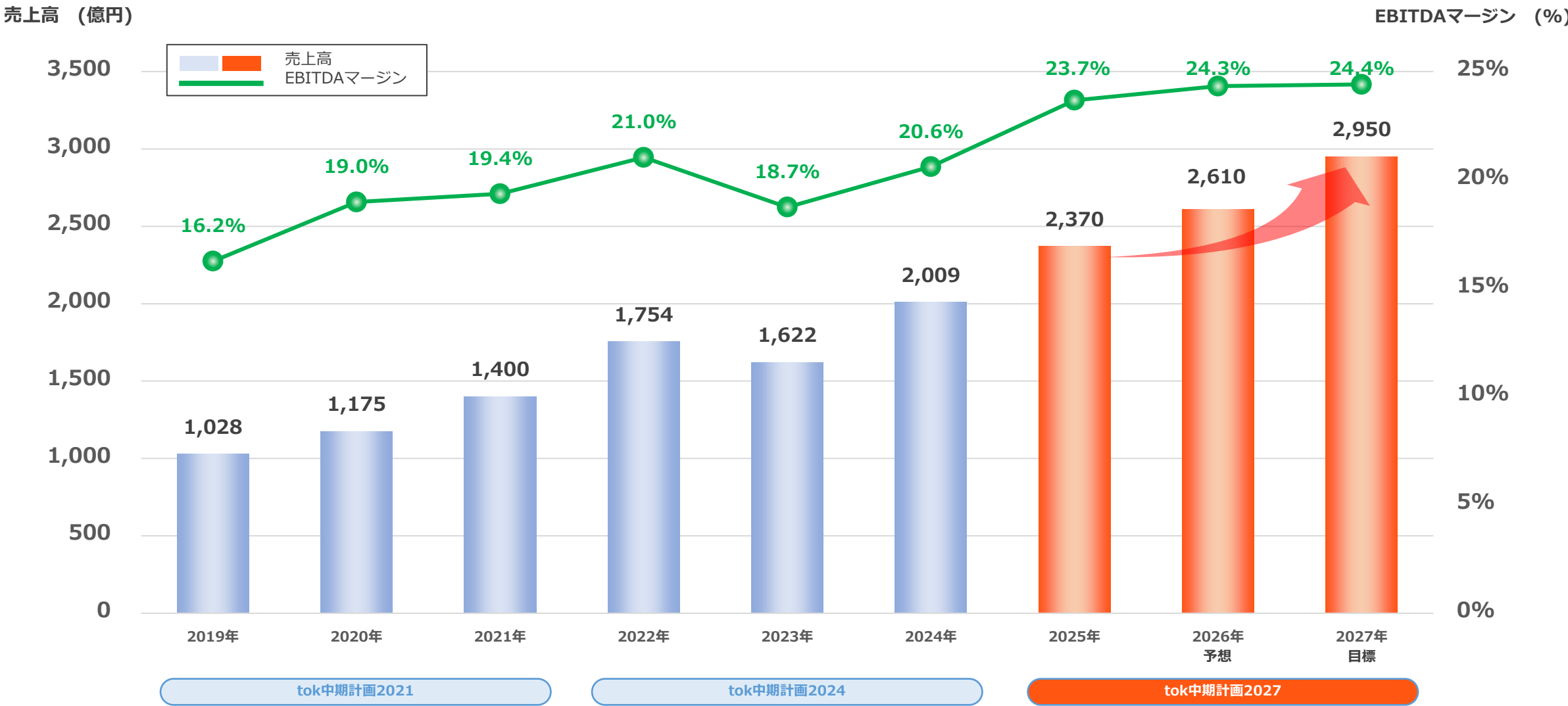
為替レートは当初の予想より円安に推移しており、増収・増益に貢献すると見込む
(2025-2027年度平均為替 (USドル) …当初予想: 135.0円/ドル ⇒見直し後: 150.0円/ドル)

売上高・営業利益・EBITDA・ROE目標を上方修正

定性目標および重点戦略は変更なし

	2025年度実績		2027年度 当初目標 (2025年1月公表)		2027年度 修正後目標 (2026年2月公表)
売上高	2,370億円	➤	2,700億円	➤	<u>2,950億円</u>
営業利益	473億円	➤	480億円	➤	<u>580億円</u>
EBITDA	561億円	➤	600億円	➤	<u>720億円</u>
ROE	15.6%	➤	13.0%	➤	<u>14.0%</u>

連結売上高・EBITDAマージン推移



tok中期計画2027 セグメント別目標/戦略/進捗

セグメント	中期計画目標		戦略	進捗
半導体用 フォトレジスト ー先端材料 ーKrFレジスト ーレガシー材料 ーパッケージ材料	<u>シェア拡大による 市場成長を上回る売上伸長</u>	売上高成長率 (2024年度→2027年度) 当初目標 (2025年2月公表) 修正後目標 (2026年2月公表) +37% >>> +42%	技術ポートフォリオの拡大 さらなる微細化への品質管理強化 高度な生産技術・高品質製品の 安定供給による差別化	<u>生成AI用半導体を含む 最先端分野（ロジック/メモリ）で 需要増加・シェア拡大中</u>
各種電子材料 ーMEMS材料 ーWHS材料 ーディスプレイ材料 ーその他	<u>既存および新規市場の シェア向上による売上拡大</u>	+20% >>> +143%	技術トレンドの先取りによる 潜在ニーズの掘り起こし	<u>先端パッケージ市場の伸長と 顧客ベースの拡大</u>
高純度化学薬品 ーシンナー ー現像液 ー表面改質剤	<u>需要増加による販売拡大 および供給体制構築</u>	+34% >>> +44%	グローバルでの供給体制を整備 最先端デバイス製造プロセスに 対応した製品の採用獲得	<u>顧客の新工場建設等により需要増加 米国・台湾・中国・日本での販売拡大中</u> <u>韓国における高純度化学薬品 供給体制構築に着手</u>

さらなる微細化を実現する次世代EUVレジストの開発

20

各種EUVレジストを**フルラインナップ**で提供し、多様なニーズに対応

実用化時期（当社推定）

2025

2030

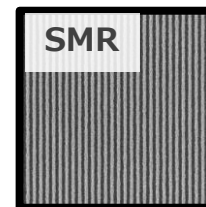
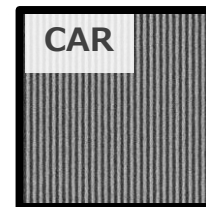
CAR（Chemical Amplified Resist） ◎材料設計の自由度・安定性

SMR（Small Molecular Resist） ◎パターン均一性・エッチング耐性

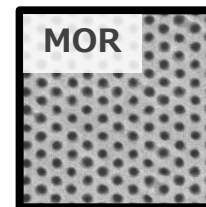
MOR（Metal Oxide Resist） ◎感度・エッチング耐性

各レジストで形成した
パターンの例（上面写真）

14nm line/ 28 Pitch
Line & Space



18nm Contact/ 36nm Pitch
Hexagonal Hole



「100年企業」を見据えた研究開発投資

産学連携

兵庫県立大学との共同研究

同大と連携協力の推進に関する協定を締結（2025年）
「Beyond EUV」をテーマに、
既存のEUVリソグラフィーの光源のさらなる短波長化による
微細解像性能向上に取り組む



産々連携

JOINT3への参画

次世代半導体パッケージ分野向け
コンソーシアム「JOINT3」に参画（2025年）
材料・装置・設計企業の共創により、
パネルレベルパッケージ向け材料の開発を加速



自社開発

新たなコア技術の創出

「光をコントロールする技術」を新たなコア技術として確立
AR/VR向け屈折率コントロール材料や
CPO(Co-Packaged Optics)技術向け材料を開発中



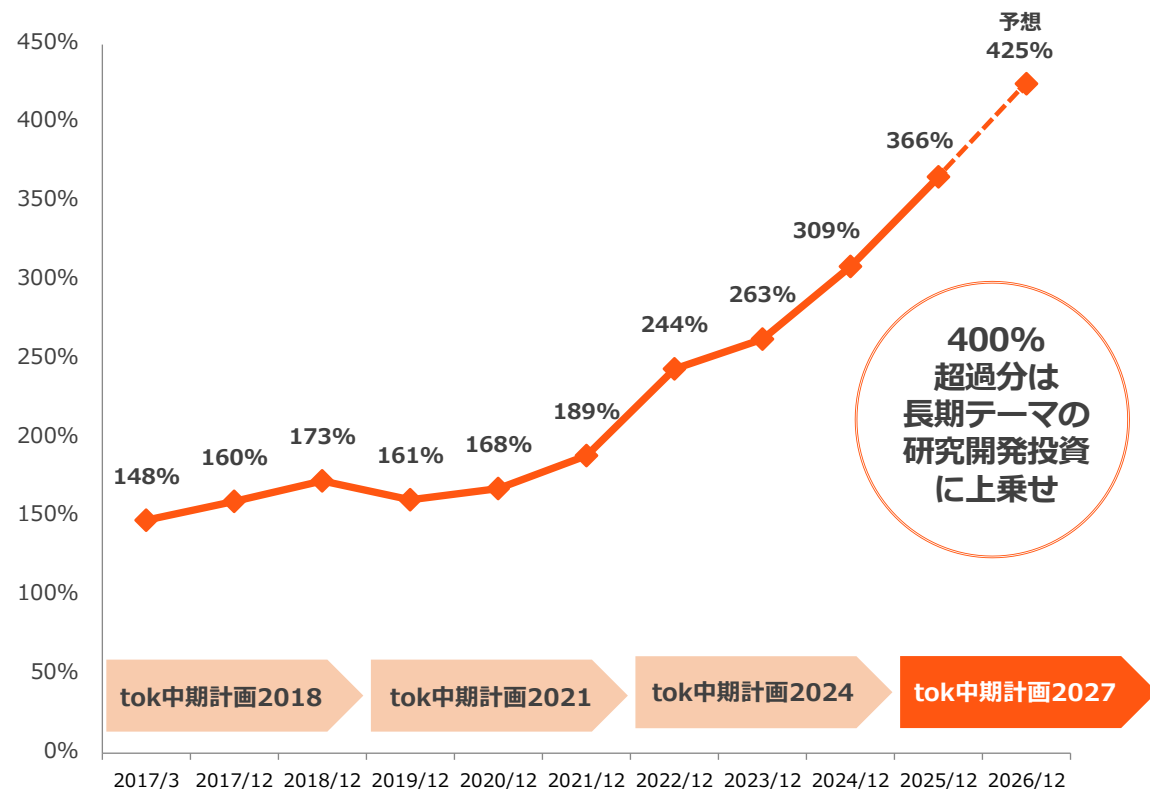
M&A

ドイツ micro resist technology 社

ドイツ micro resist technologyを完全子会社化（2025年）
欧州における顧客サポート体制の強化と、MRT社との技術融合により
製品ポートフォリオを拡充



研究開発効率の推移（5年移動平均）*

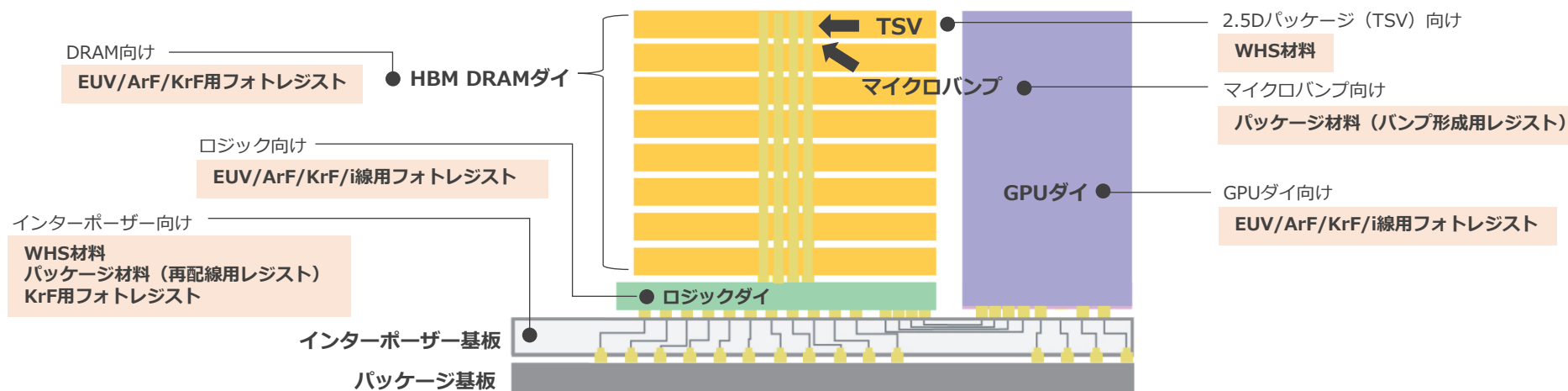


*研究開発効率 = 直近5年間の営業利益 / その前の5年間の研究開発費

生成AI関連需要の増加によるTOK製品の売上成長見通し

前工程向け材料のみならず、後工程（パッケージプロセス）向け材料の売上も拡大
高純度化学薬品は、最先端デバイス製造プロセスに対応した高付加価値製品のシェア拡大中

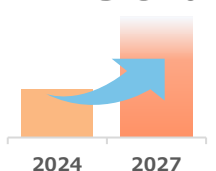
生成AI用GPUとTOK製品の使用例



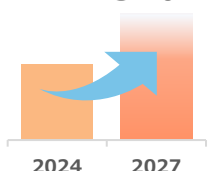
製品別売上成長率（予想）

半導体用フォトレジスト

EUVレジスト
+ 150%

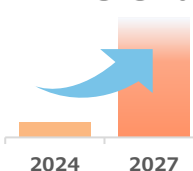


パッケージ材料
+ 70%



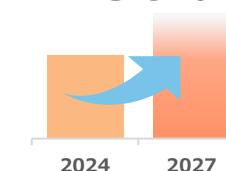
各種電子材料

WBS材料
+ 700%



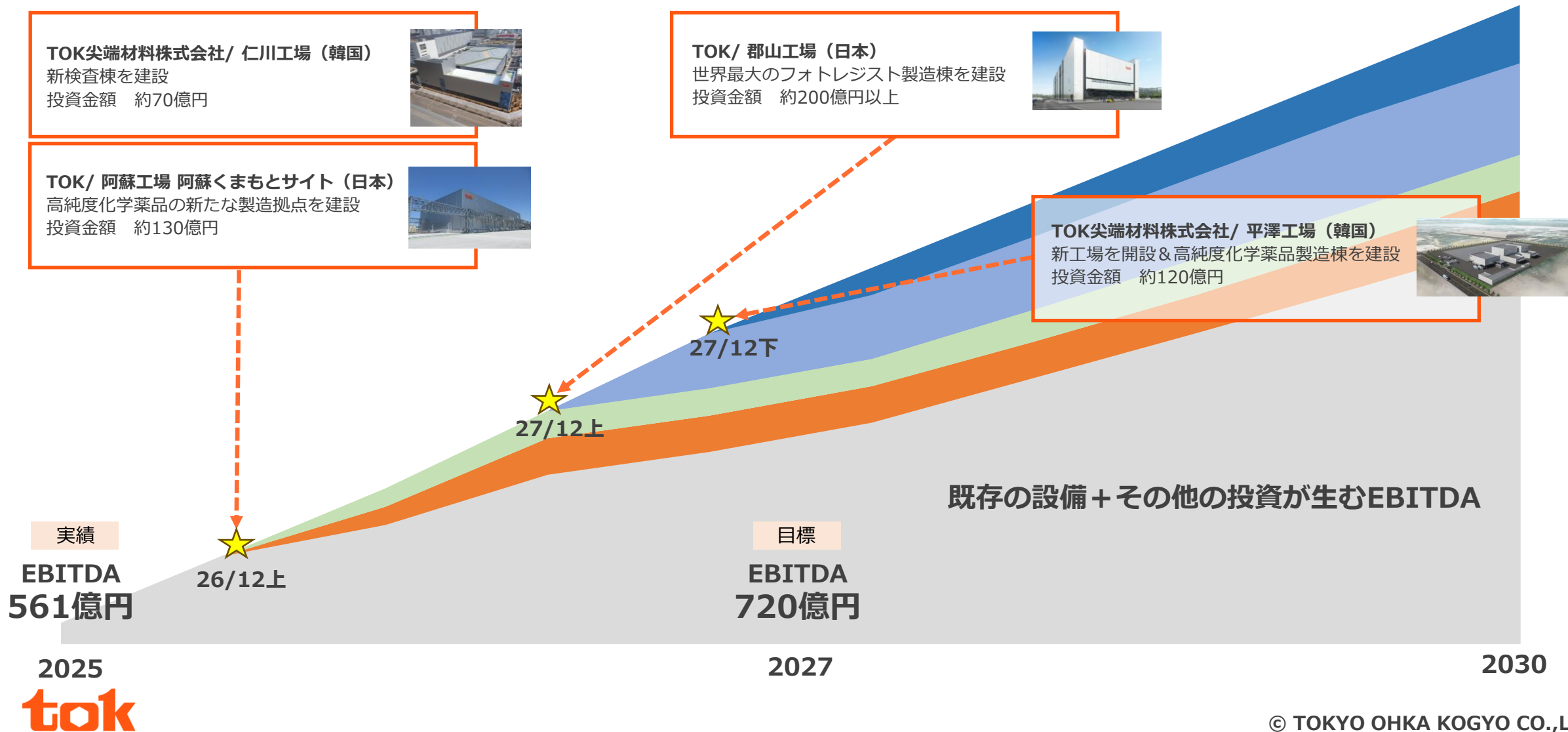
高純度化学薬品

表面改質剤
+ 50%



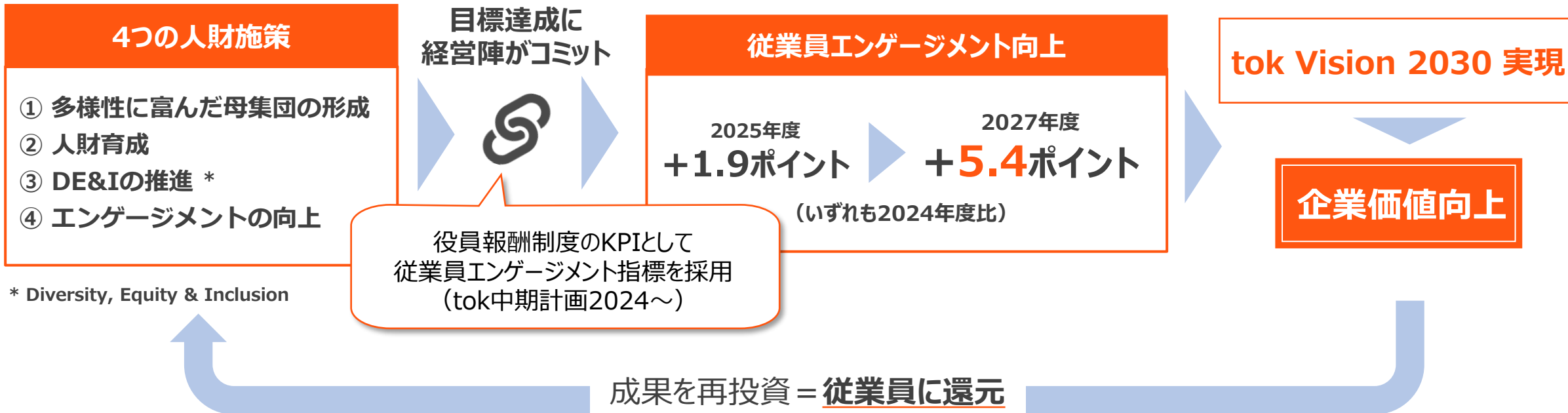
製造資本の強化によるキャッシュ創出力拡大

2030年までのEBITDA推移イメージ



人的資本投資

幸福度を重視した人財施策（人的資本投資）を通じ、
従業員エンゲージメント向上と企業価値向上の好循環を回す



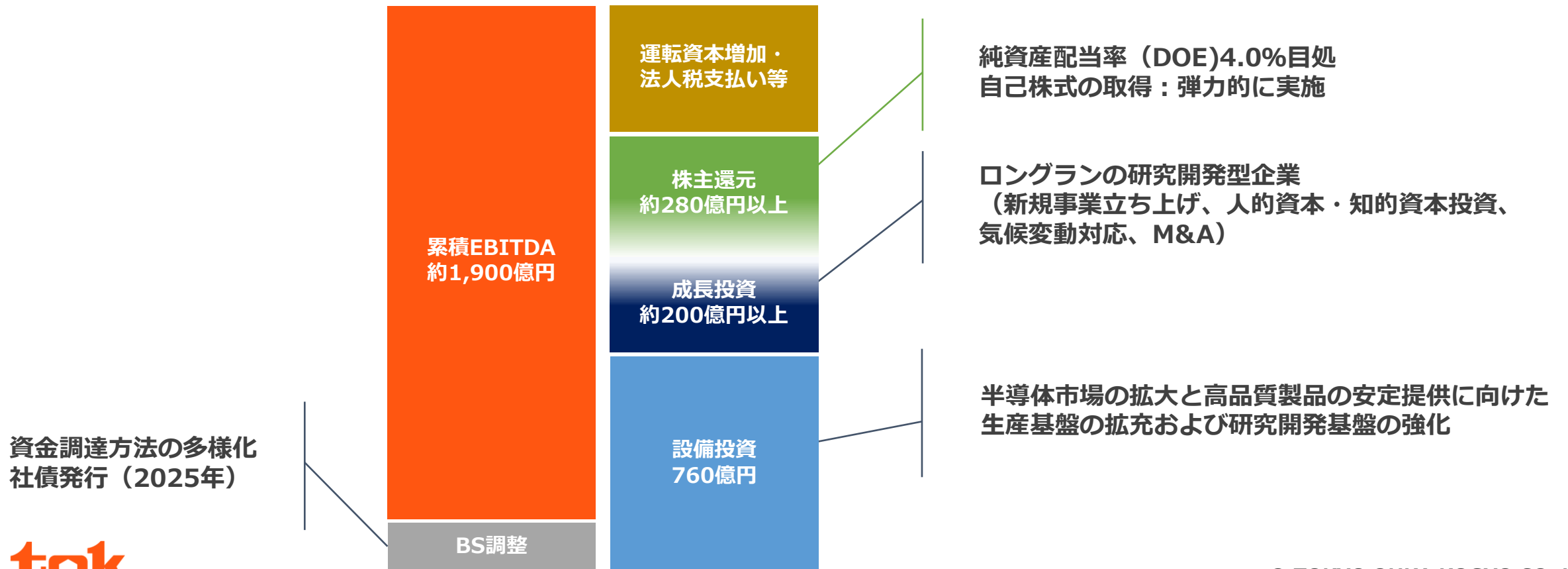
施策例

- ・従業員持株会制度を海外の現地従業員へも展開
- ・譲渡制限付き株式インセンティブを従業員に付与
- ・表彰制度(TOK SHINKA AWARD)のグローバル化
- ・60歳から65歳へ定年延長（現役時の給与水準を維持）
- ・4年連続で5%超の賃上げを実施（2022～2025年）

キャッシュアロケーション

創出したEBITDAは、DOE4.0%を目途とする安定的かつ継続的な配当に配分すると共に、半導体市場の需要を見越した設備投資、成長投資に投下したうえで、自己株式の取得へ弾力的に配分

中期計画2027（2025-2027） 3カ年キャッシュ・フロー計画（イメージ）



Appendix

営業外損益・特別損益

27

	2024/12	2025/12	増減
			(百万円)
営業外損益	+1,463	+1,888	+424
受取利息・配当金	+977	+1,059	+82
持分法による投資損益	△116	+471	+588
為替に係る差損益	△134	△70	+63
為替差損益	△98	+289	+388
デリバティブ評価損益	△35	△360	△324
助成金収入	+328	+403	+75
特別損益	+603	+1,017	+414
持分変動損益	+198	△12	△211
投資有価証券売却益	+508	+245	△263
条件付対価受入益	—	+1,422	+1,422
減損損失	—	△283	△283
固定資産除却損	△122	△364	△242

比較貸借対照表

(百万円)

	2025/12	2024/12末比
流動資産	172,773	+21,003
現金預金	70,962	+11,915
売上債権	48,645	+5,799
棚卸資産	44,006	+7,120
有形固定資産	110,193	+20,251
無形固定資産	1,834	+23
投資その他の資産	50,490	+12,083
流動負債	59,373	+5,269
仕入債務	29,544	+2,674
固定負債	33,619	+19,266
純資産	242,299	+28,826
総資産	335,292	+53,362

建設仮勘定	+9,255
機械装置及び運搬具 減価償却累計額	+3,133
建物及び構築物 減価償却累計額	+3,116
土地	+3,098

投資有価証券	+9,765
退職給付に係る資産	+679
繰延税金資産	+302

短期借入金	△4,058
未払金	+3,085
支払手形及び買掛金	+2,674
未払法人税等	+1,843
賞与引当金	+1,096

社債	+10,000
長期借入金	+10,000

利益剰余金	+25,071
自己株式	△789
その他有価証券評価差額金	+1,982

キャッシュフロー

	2024/12	2025/12	(百万円)
営業キャッシュフロー	+30,146	+35,194	
税金等調整前当期純利益	+35,158	+50,292	
減価償却費	+8,333	+8,807	
売上債権の増減額(△は増加)	△7,842	△5,207	
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,115	△6,809	
仕入債務の増減額(△は減少)	+5,874	+2,208	
法人税等支払額又は還付額 (△は支払)	△4,418	△10,465	
投資キャッシュフロー	△2,733	△25,291	有形固定資産の取得 △24,762
財務キャッシュフロー	△15,424	+3,172	社債と長期借入金 それぞれ+10,000
換算差額	+1,585	△208	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	+13,572	+12,867	
現金及び現金同等物の期末残高	+56,361	+69,228	

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company™”

www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。